

## 「ワクチンの話」

名和診療所 所長

佐々木 修治

大山町は7月から小児の細菌性髄膜炎の原因菌であるインフルエンザ菌ワクチンの公費助成を開始しました。

小児の細菌性髄膜炎は非常に怖い病気です。急速に進行すると数時間のうちに死亡してしまうこともあります。特に0歳児の後半から幼児期に多く、発症すると多くの方が亡くなったり、後遺症を残すことになります。この原因菌は70%程度がインフルエンザ菌、約25%が肺炎球菌と言られています。2年前にインフルエンザ菌のワクチン、今年の2月から肺炎球菌のワクチン（高齢者などに用いられるものと別のワクチンです）が日本でも認可されました。いずれも任意接種（自費で、個人の判断で接種するかどうか決める）の扱いです。

インフルエンザ菌のワクチンは海外100カ国以上で使用されており、それらの国ではインフルエンザ菌による髄膜炎は稀な疾患になつております。肺炎球菌のワクチンも100種類以上の接種があります。肺膜炎のワクチンも100種類以上の接種があります。

また、日本では新しいワクチンであり比較的高額で、複数回の接種が必要なので経済的な負担が大きいです（医療機関によって違いがありますが1回6000～10000円程度）。今年度はインフルエンザ菌ワクチンのみの助成ですが、小児用肺炎球菌ワクチンも助成の検討がされているようです。小さなお子様がいらっしゃるご家庭、今後御出産の予定のあるご家庭では、ぜひ接種をご検討ください。

そのほかニュースでも話題になつた、子宮頸癌予防につながるヒトパピローマウイルス（HPV）に対するワクチンなど新たに国内で認可されたワクチン、また海外では一般的に接種されているのに国内では定期接種となつていないワクチンや認可されていないワクチンなどもまだあります。



## 乳幼児ヒブワクチン予防接種費用を助成します。

ヒブワクチンは、ヒブ（インフルエンザ菌b型）による髄膜炎などの感染症を予防するワクチンです。

### 対象者

大山町にお住まいで、平成22年7月1日以降に接種を受けられた生後2か月～5歳未満（5歳の誕生日の前々日まで）の乳幼児

### 助成額

接種1回あたり 3,000円

### 助成方法

償還払い（ヒブワクチン接種後、役場に申請していただくと助成を受けることができます）

★このワクチンは「任意接種」であり、大山町が接種を勧奨するものではありません。かかりつけ医にご相談の上、保護者の方の判断により接種してください。

★ワクチンが不足している可能性がありますので、必ず医療機関に確認し、予約をするなどの早めの対応をお願いします。

◆問い合わせ先 保健課 ☎ 0859-54-5206